

成果指標

プランにおいて、市民が文化芸術に親しんでいる成果を判断する指標と数値目標を次のとおり定めます。

	指標	現状値 (令和5年)	目標値 (令和10年)
	指標設定の根拠		
1	「1年間に、ホールや施設などで文化芸術を直接鑑賞したことがある」人の割合	47.3%	80.0%
	市民が直接、文化芸術を鑑賞することが文化芸術に親しんでいる成果を判断できることから設定しました。		
2	「1年間に、実際に文化芸術を鑑賞又は体験する機会があった(学校での機会を除く)」子どもの割合	32.4%	50.0%
	子どもの頃から文化芸術を鑑賞したり体験することが重要であるとともに、継続して文化芸術に親しむきっかけづくりにも繋がることから設定しました。		

※1 指標1の数値は、まちづくり市民アンケートにより把握します。

※2 指標2の数値は、市内小学生保護者へのアンケートにより把握します。

各主体の役割

(1)市民

文化芸術の主役であるとともに、文化芸術の担い手として期待されます。また、他の主体との協働により文化芸術活動を通じたまちづくりに参画することも望まれます。

(2)地域コミュニティ団体

地域の文化行事やサークル活動を通じて人々の交流やつながりを生み出すとともに、地域に伝わる文化や行事を次世代に受け継いでいくことが期待されます。

(3)文化芸術団体・市民活動団体

文化芸術団体は、市民の文化芸術活動のけん引役として、文化芸術活動を自律的に展開するとともに、次世代を担う子どもたちに、優れた文化芸術の体験の機会の提供や世代間交流、伝統文化を尊重する心などを育む取組みを推進することが期待されます。市民活動団体については、文化芸術を通じたまちづくりの視点からも期待されます。

(4)学校

子どもがさまざまな文化芸術に触れ、体験できる機会を充実させることが望まれます。また、子どもが歴史・伝統・文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度や、文化芸術を愛好する心情を育み、豊かな心の涵養を図るための取組みを推進することが期待されます。

(5)企業

地域の文化芸術振興が地域に活力を与え、地域経済の活性化にもつながることから、積極的に文化芸術事業への協賛・支援を行い、市民や行政と連携して地域の文化芸術活動の担い手、支援者となることを期待されます。

(6)文化施設

施設の目的に応じて文化芸術事業を実施するとともに、文化芸術活動者の育成や支援を行い、市民が文化芸術に触れる機会を創出することや、人や社会とつながる交流の拠点となり、社会的課題を解決する場となることを期待されます。

(7)行政

文化芸術に関する施策を観光・産業・福祉・教育・まちづくりなどの関連分野を所掌する部局間と連携を図りながら総合的かつ計画的に推進するとともに、市民の文化芸術活動の促進及び支援を行う必要があります。また、文化芸術情報の提供や活動の場の充実のほか、わくわくシティ基金を活用した文化芸術活動の環境を整えます。

(8)公益財団法人大牟田市文化振興財団

公益法人として地域の文化振興に貢献することが期待されます。そのために、大牟田市の政策実現のパートナーとしてプランの推進に取り組むとともに、地域社会の絆の維持及び強化や共生社会の実現に資するなど、まちづくりの視点を持った取組みが期待されます。



プラン策定の目的

大牟田市では、平成27年(2015年)に第1期の文化芸術振興プラン(2015～2019)、令和2年(2020年)に第2期の文化芸術振興プラン(2020～2023)を策定しました。

このような中、令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術施策の推進においても大きな影響が生じる事態となりました。

しかし、このような状況下であっても、文化芸術は、多様な文化や価値観を共有することができる寛容性の高い社会の形成に寄与することが期待されるとともに、他の分野と密接に連携することで魅力あふれる活力のあるまちづくりを推進する上で大きな役割を果たすものと考えられます。

このようなことから、これからのまちづくりにおける文化芸術の役割を再確認するとともに、大牟田市の文化芸術の振興と、文化芸術活動を通じた人づくり・まちづくりにつなげることを目的として、第3期の文化芸術振興プランを策定しました。

プランの期間

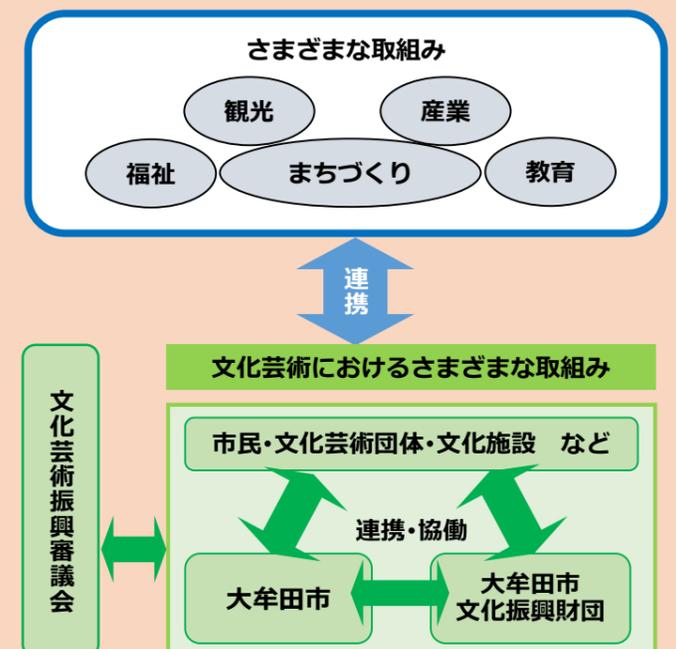
プランの期間は、第7次の大牟田市まちづくり総合プランの計画年数が10年で、5年後である令和10年度(2028年度)に中間見直しを行うこととなっていることから、令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)までの5年間とし、社会情勢の変化や事業の進捗状況などにより、必要な見直しを図ります。

プランの推進体制

文化芸術基本法などの法律の趣旨を踏まえ、観光、産業、福祉、教育、まちづくりなどの分野との連携を強化し、文化芸術を生かした取組みが社会のさまざまな分野へ波及していくことを目指し、施策を展開していきます。

また、大牟田市及び(公財)大牟田市文化振興財団が中心となって文化芸術に関する情報を把握するとともに、より効果的な連携や協働が進むためのコーディネートを積極的に行うこととします。

プランに掲げた取組みについては、文化芸術振興審議会に定期的に報告するとともに、文化芸術振興審議会は、この報告内容を審議し、今後の文化芸術振興策に対する助言等を行います。



文化芸術振興プランに掲げる 基本理念

文化芸術振興プランに掲げる 2つの視点

文化芸術に触れることによって心豊かで持続可能な大牟田の未来を創る

文化芸術に触れる(参加する・鑑賞する・体験する)機会を創出し、市民が相互に尊重しながら多様性を認め合う心豊かで持続可能なまちと未来を創る。

視点 1

文化芸術を通じた人づくり、まちづくり

文化芸術に触れることにより豊かな感性を育むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を人づくり、まちづくりの面で活かし、まちの魅力を高める取組みを進めます。

視点 2

文化芸術活動を支える仕組みづくり、環境づくり

文化芸術団体への支援等により、市民が身近に文化芸術に親しめる仕組みづくりや環境づくりを進めます。また、文化施設の適切な維持・補修を行うとともに、文化施設が地域で果たす役割や機能の充実を図ります。

5つの基本目標と目標達成の施策と主な取組み

重点目標

基本目標 1 文化芸術で未来を はぐくむ

子ども達の豊かな創造性や感性を育むとともに持続可能な文化芸術を推進していくために、子どもの頃から文化芸術に触れることができる取組みを進めます。

- **施策 1**
子どもが文化芸術に触れる機会の充実
- **施策 2**
文化芸術を通じた子どもや若者の活躍の場の創出と豊かな表現力や感性、創造力の育成
- **施策 3**
文化芸術や伝統芸能の次世代への継承や多世代間交流の促進



まちの芸術家派遣事業



子ども・若者の感性を育む文化芸術事業

基本目標 2 文化芸術を身近で たのしむ

文化施設のみならず、まちなかや店舗などの身近な日常生活の中で気軽に文化芸術に触れたり、発表や交流が行われるなど、楽しむことができることを目指します。

- **施策 1**
身近な地域における文化芸術事業の展開や市民の創作・発表の機会の支援
- **施策 2**
他分野との連携による文化芸術の価値や魅力の創出



生涯学習ボランティア登録派遣事業



身近な施設等でのコンサートなどの実施(100万人クラシックライブ OUMITA によるコンサート)

基本目標 3 魅力ある優れた文化芸術を とどける

観たい、聴きたいなどのニーズに応え魅力ある優れた文化芸術や、社会包摂や多様性への理解にも繋がる文化芸術を市民に届けることを目指します。

- **施策 1**
質の高い優れた文化芸術に触れることができる機会の創出
- **施策 2**
多様かつ多彩な文化芸術に触れることができる機会の創出



日本フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブルコンサート



文化振興財団による自主企画文化芸術事業

重点目標

基本目標 4 文化芸術活動を ささえる

文化芸術団体の支援や交流、ボランティアの育成をはじめ、文化芸術に触れたり、発表するための環境の整備などにより、文化芸術活動を支えることを目指します。

- **施策 1**
文化芸術に関する情報発信の強化
- **施策 2**
文化芸術を通じた大牟田の特色や新たな価値の創出とシティプロモーションとの連携
- **施策 3**
文化芸術を通じた市民交流や社会参加の促進
- **施策 4**
安全性・利便性の確保のための文化芸術拠点の整備・充実



大牟田市民文化のつどい



高齢者生きがいづくり社会参加促進事業において創作された作品

基本目標 5 文化芸術の魅力をつたえる

文化芸術や文化芸術団体に関する情報発信を強化し文化芸術の魅力を伝えるとともに、大牟田ならではの魅力や新しい価値を創出し、大牟田市のイメージアップを図ります。

- **施策 1**
文化芸術に関する情報発信の強化
- **施策 2**
文化芸術を通じた大牟田の特色や新たな価値の創出とシティプロモーションとの連携



市内イベントと連携した文化芸術事業



本市の特色を活かした文化芸術事業